

ICTによる地方創生の成功事例(徳島県神山町モデル)

テレワークによる定住・移住促進、人口増加に貢献
(徳島県神山町等のサテライトオフィスプロジェクト)

地方創生に資する
「地域情報化大賞」
部門賞受賞

徳島県は、カバー率98.8%のFTTH網と公設民営方式の光CATV(加入率88.3%)を全県域に整備し、全国屈指の高速ブロードバンド環境を実現。

オフィス開設・運営費用への補助(通信費、古民家改修費用等)などの支援も充実

過疎地域にサテライトオフィスを整備、ICTベンチャー系企業の誘致を推進



古民家や蔵を改装したサテライトオフィス

首都圏のICTベンチャー系企業等※を対象に本格展開

※クラウドサービス企業、情報配信サービス企業、Webデザイン企業、デジタルコンテンツ制作企業、特許事務所等

徳島県内5市町※に、31社が26拠点に進出

※神山町、美波町、阿南市
三好市、徳島市

56名の地元雇用を創出

(H27. 9. 1 現在)

3年間で76世帯113名が移住 (徳島市を除く)

神山町ではH23にS45以降、初めて「社会増」が「社会減」を超過
(4年間で64世帯102名が移住)

神山町は、総務省からの支援により、
・基盤整備事業(H12, 16年度に総額約3億円、神山町の地域公共ネットワーク等を整備)、
・利活用事業(H19~21年度に総額約9千万円、神山ワーク・イン・レジデンスのWebシステム等を整備)を実施